

奥出雲たたらと刀剣博物館

奥出雲たたら刀剣博物館は、たたら製鉄の歴史と刀の伝統工芸の保存をテーマにした博物館。奥出雲は現在もたたら製鉄が行われている唯一の地域であり、この博物館は地域の製鉄遺産を伝えるための施設のひとつである。

たたら製鉄は 6 世紀後半に始まった日本独自の製鉄法である。土炉を使って砂鉄と木炭を数日間かけて錬り、数トンにもなる鉄、鋼、スラグの鋳を生成する。この方法は、日本の刀匠が求める貴重な玉鋼を製造する唯一の方法である

博物館の前半の展示では、たたら製鉄の隆盛と衰退を紹介している。博物館の後半では、日本刀用の鋼を作るために行われた現代の復活の取り組みに焦点を当てている。しかし、たたら製鉄は単なる生産方法ではなく、奥出雲や山陰地方（島根県、鳥取県）の文化を形成する産業でもあった。